

# 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点

## 第3回シンポジウム開催報告

東京大学情報基盤センター

東京大学情報基盤センターでは、7月14日（木）・15日（金）に「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点第3回シンポジウム」を THE GRAND HALL（品川）で開催し、220名の参加者（大学134名、独法等研究機関27名、企業他59名）を迎えて盛会のうちに行われた。

「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点」（以下、当拠点）とは、北海道大学、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学のスーパーコンピュータを所有する8つの共同利用施設を構成拠点とし、東京大学情報基盤センターがその中核拠点を担う「ネットワーク型」の共同利用・共同研究拠点である。各年度で共同研究の公募・採択が行われ、当拠点との共同研究を実施する。

今回のシンポジウムは、平成22年度に実施された公募型共同研究37課題の口頭発表による最終報告、および、平成23年度公募型共同研究に採択された全39課題のポスター発表による研究内容紹介を実施した。また、同時開催として「平成22年度先端的大規模計算利用サービス成果報告会」のポスター発表も実施した。口頭発表では、当拠点の課題審査委員による最終審査と併せて、各課題の発表後には委員に限らず一般の参加者も交えた活発な質疑や意見交換が行われた。

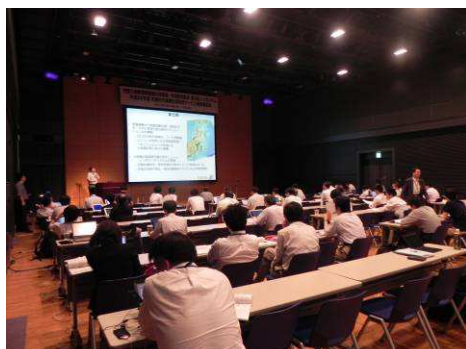
シンポジウム初日は、石川裕総括拠点長（東京大学情報基盤センター長）による主催者挨拶と、岩本健吾文部科学省研究振興局情報課長の来賓挨拶もあった。そして、当拠点の研究分野である、超大規模数値計算系応用分野、超大規模データ処理系応用分野、大規模情報システム関連研究分野およびこれらの分野と超大容量ネットワーク技術分野にまたがる、複合分野研究の研究結果発表が行われた。

閉会では、中島浩課題審査委員長（京都大学学術情報メディアセンター長）からシンポジウム全体のサマリーを含めた挨拶があった。

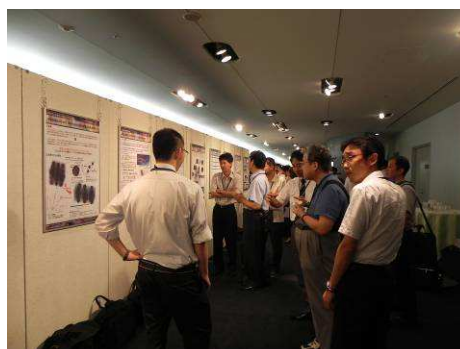
当シンポジウムのプログラムおよび最終報告書の正式版、平成23年度採択課題の発表ポスターは次のURLから参照可能である。

■学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点第3回シンポジウムホームページ

<http://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/sympo/>



シンポジウムの様子



ポスター発表の様子